

150年の歴史を照らして
150年先の希望を照らす

安乗埼灯台

大王埼灯台

LIGHTHOUSE WORLD SUMMIT 2018

灯台ワールドサミット

IN 志摩

平成30年 11/10 土・11日

【受付開始】10:00～
【開演時間】10:30～

入場無料
申込不要

【会場】阿児アリーナ

このシンポジウムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

150th
LIGHTHOUSE
ANNIVERSARY



- 【主催】 一般財団法人自治総合センター、灯台ワールドサミット実行委員会
【発起自治体】 志摩市(三重県)、銚子市(千葉県)、御前崎市(静岡県)、出雲市(島根県)
【後援】 海上保安庁、観光庁、三重県、(一社)志摩市観光協会、志摩市商工会、三重外湾漁業協同組合
【協賛】 (公社)燈光会、(一財)日本航路標識協会

お問い合わせ

灯台ワールドサミット実行委員会事務局

〒517-0592 三重県志摩市阿児町鵜方3098-22 志摩市 産業振興部 観光商工課内

TEL 0599-44-0005 FAX 0599-44-5262

LIGHTHOUSE WORLD SUMMIT 2018 灯台ワールドサミット IN 志摩

講演会

11/10(土) 11:10~14:40



藤岡 洋保 (東京工業大学名誉教授) テーマ「灯台に見る日本の近代」

1949年広島市生まれ。東京工業大学工学部建築学科卒業、同大学院理工学研究科修士課程・博士課程建築学専攻修了、工学博士。日本近代建築史専攻。建築における「日本的なもの」や、「空間」という概念導入の系譜など、建築思想とデザインについての研究や、近代建築家の研究、近代建築技術史、保存論を手がけ、歴史的建造物の保存にも関わる。主著に『表現者・堀口捨己—総合芸術の探求—』(中央公論美術出版、2009)、『近代建築史』(森北出版、2011)、『明治神宮の建築—日本近代を象徴する空間—』(鹿島出版会、2018)など。2011年日本建築学会賞(論文)、2013年「建築と社会」賞、迎賓館赤坂離宮顧問、文化庁第二専門調査会会長。



ヴィンセント ギグエノー (フランス海洋博物館)

テーマ「フランス式の灯台とフランスの灯台観光の現状」

1968年生まれ。エンジニアとして国立土木学校を卒業。1999年にソルボンヌ大学で歴史学の博士号取得、その2年後に博士号に基づき最初の書籍「14世紀から20世紀のフランスの海洋シグナルについて」を出版。それ以降、著名な写真家Jean Guichardとのコラボレーションを含む灯台に関する7冊の本を出版している。2009年から2015年の間、フランス海洋事務局の灯台遺産問題を担当。2012年には、パリのフランス海洋博物館で灯台についての主要展覧会のキュレーター(管理職)を務める。灯台研究の第一人者であり、出版書籍はすべて灯台のもので世界的に有名。



藤島 充良 (第四管区海上保安本部 名古屋港海上交通センター)

テーマ「鳥羽志摩地域の灯台」

灯台技術官、浮標技術官として、岬や暗礁、港の位置を知らせる灯台や海に浮かべて航路を示す灯浮標(ブイ)などの航路標識の設計・監督業務に従事。最近では灯台の歴史の探求や古文書の翻刻にも力を注ぎ、廃止された灯台の図面の復元を行う。神島で灯台守をしていた経験もある。

パネルディスカッション 11/10(土) 14:50~16:20

テーマ「地域資源としての灯台を使った地域活性化策を考える」



コーディネーター **渡邊 明** (三重大学名誉教授)

昭和21年静岡県牧之原市(旧 橋原郡橋原町)生まれ。中央大学商学部卒業、同大学商学博士。埼玉大学、福山市立大学、三重大学等に勤務。三重大学、埼玉大学名誉教授。専門分野は地域産業論、経営学、生産管理論。農商工連携・新連携・地域資源施策のほとんどの商品設計とプロジェクトマネジメント、モジュール生産と自動車部品産業について研究。著作に井上照幸・林偉史・渡邊明編『ユビキタス時代の産業と企業』(税務経理協会、平成19年)

中部経済産業局地域産業資源活用事業評価委員会委員長、三重ブランド選定委員会委員長、南伊勢ブランド認定委員会委員長、志摩市ブランド認定審査会会長。

パネラー

不動 まゆう (『灯台どうだい?』編集長) **竹内 千尋** (志摩市長) **越川 信一** (銚子市長)
柳澤 重夫 (御前崎市長) **長岡 秀人** (出雲市長) **ヴィンセント・ギグエノー**



不動 まゆう

灯台専門フリーペーパー「灯台どうだい?」編集長。自腹で世界各地の灯台取材し発行している。灯台愛が溢れる誌面はテレビ番組でも紹介され、ラジオ出演、新聞、雑誌への掲載も多い。灯台愛好会「ライトハウスラバーズ」に所属し、毎年「灯台フォーラム」を企画・運営する。「灯台」や「フレネルレンズ」の文化的価値を訴えながら、「100年後の海にも美しい灯台とレンズを残す」ことを目指して活動の幅を広げ続けている。著書「灯台はそるる」(光文社)、「灯台に恋したらどうだい?」(洋泉社)。本業は楽器学を専門とする芸芸員。広島と熊本のハーフの東京生まれ。



竹内 千尋



越川 信一



柳澤 重夫



長岡 秀人

「1868(明治元)年に西洋式灯台の建設が始まってから今年で150年になるのを記念し、志摩市をはじめとする全国の参観灯台を有する自治体が発起人となり、『灯台ワールドサミット』を開催いたします。

灯台を中心とした周辺地区の積極的な観光資源化を図り、歴史的灯台を次世代に引き継ぐための灯台の活用を促進します。」



物産展

11/10(土)
10:00~

会場でのPRブース
販売ブースでお楽しみください。



交流会

11/10(土)
17:30~

定員
50名
要申込

【場 所】安乗岬園地
(悪天候時:安乗漁民センター)

【参加費】5,000円

【イベント】
安乗人形芝居の鑑賞



オプションツアー
船で巡る志摩市の灯台
大王埼灯台周辺のまち歩き
11/11(日) 8:30~11:00

定員
50名
要申込

【参加費】3,000円

※天候により内容の変更
中止場合があります。



お申し込みはこちら

近畿日本ツーリスト

http://www.knt-c.co.jp/ec/toudai_summit/

【申込期間】平成30年9月20日~
10月20日



【シンポジウム会場】阿児アリーナ
〒517-0502
三重県志摩市阿児町神明1074-14